

令和5年 10月1日

東京都立小平特別支援学校

校長 阿部 智子



学校だより

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

「人との出会いや関わりの中で、思いを伝えることの大切さ」



テーブルマナーを学習し、生徒と一緒に、高層階で食事ができるということが、どんなにありがたいことなのかと思って撮った食事場所の写真です。コロナ禍で、友達と共に過ごすことが叶わずに、卒業していった先輩たちのことを考えずにはられませんでした。肢体不自由教育部門高等部2年生の修学旅行を終えることができ(渋滞に巻き込まれたことも思い出です)無事生還。お迎えの保護者の皆様、教職員から



たくさんさんの拍手で出迎えられて、生徒の少し照れた笑顔も最高のものとなりました。御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

2日目の日本科学未来館は、地球のディスプレイ「ジオ・コスモス」が真ん中にそびえ、様々なスケールで科学技術を体験できる場所でした。「ジオ・コスモス」は、ばっちり集合写真にも納めてきました。班ごとに1階から5階まで教員と語りながら展示を見ている姿、生徒が何を見て、何を考え、何を話したのか、この時間を高校生活の思い出としてしっかり刻んでくれればと願います。



【前期の個別指導計画で学習習得状況をお知らせします。】

10月の個別面談において、「個別指導計画の前期の評価と後期の計画」を、お渡しいたします。

前期・後期の初めに書いてお渡しします。

半年間の学習の様子をお知らせします。

教科等	学習内容	ねらい	評価
国語	・ ・ ・	【知】 【思】 【学】	① 【知】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ② 【思】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ③ 【主】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【知】 知識及び技能
【思】 思考力、判断力、表現力等
【学】 学びに向かう力、人間性等

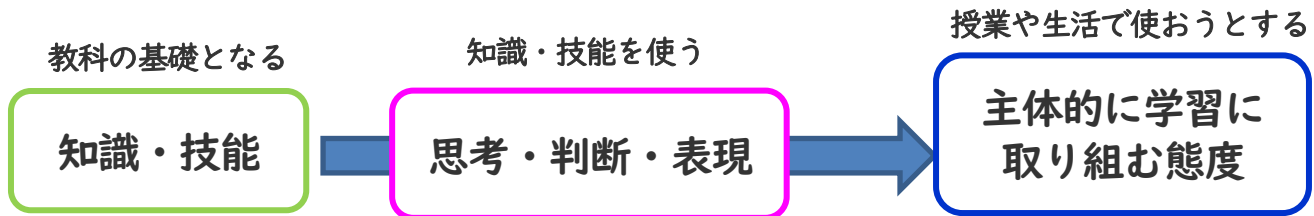
【知】 知識・技能
【思】 思考・判断・表現
【主】 主体的に学習に取り組む態度

本校では上記の形式で記入しています。子供たちに身に付けてほしい力を「育成を目指す3つの資質・能力」と表現しています。次の「3つの資質・能力」です。これらがねらいとして記入されています。

(1) 知識及び技能 (2) 思考力、判断力、表現力等 (3) 学びに向かう力、人間性等

ねらいに合わせて児童・生徒が教科等の学習において「知識・技能」として身に付けた力をどのように「思考・判断・表現」し、他の学習や生活の中で「主体的に」生かそうとしているかを観点別評価として記載しています。

育てたい3つの資質・能力	評価の観点（評価規準）	具体的には
(1) 知識及び技能	① 知識・技能	何を、学ぶのか。学習に必要な 知識や技能 を身に付けること。
(2) 思考力、判断力、表現力等	② 思考・判断・表現	どのように学ぶのか。身に付けた知識や技能を使って、 考え、判断し合い、表現したりすること。
(3) 学びに向かう力、人間性等	③ 主体的に学習に取り組む態度	身に付けたことや学んだことを授業中に、または生活の中でさらに挑戦して、 学びを深めていくこと。



「主体的に学習に取り組む態度」とは、単に「関心がある・意欲的に学習に取り組んでいる、ハイハイと元気よく手を挙げている」という態度を評価するものではありません。授業の中で学んだことを生かして学びを深めようとする態度が見られる、生活の中で学びを生かそうとしているなどの様子が見られるか、ということになります。

「何を」「どのように」学び、「何ができるようになったのか」、身に付けた力を「どのように生かそうとしているか」を評価する。子供たちの学習のプロセスをしっかりと見取って、その軌跡（きせき＝あしあと）を文章化する。これが「学習評価」となります。

【評価は子供たちだけではなく教師に向けられたもの】

学習指導要領の育てたい3つの資質・能力に対する、評価を3観点で記入していますが、児童・生徒の評価は、私たち教師の評価でもあります。学習指導要領に即して、何を身に付けるために、授業を組み立てるのか、身に付いたものを使って、どのように思考・判断・表現を引き出すのか、その結果、授業や生活の中でどのような行動が見られるのか、御家庭の協力もいただきながら、私たちは指導方法を工夫・改善していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【学校運営連絡協議会報告・アンケートへのお願い】

第2回学校運営連絡協議会を9月7日に開催しました。委員の皆様から令和5年度の学校評価アンケートに向けての御提言をいただき、今年度もアンケートをフォームと書面で用意し、提出しやすいハイブリッド方式で御回答いただけるように準備をしています。近年、図書活動の充実がアンケート結果でも課題となっている本校では、夏季休業中の図書室大改造を経て3階図書室の充実を図り、小学部が1階からやってきて高等部の先輩と話をしている姿も見掛けるようになりました。PTAの「ハピこだブック」の皆様のお読み聞かせや、本の修理や整理などの活動も学校運営連絡協議会で話題とさせていただきます。

また、「放課後や休日の過ごし方、外出することや将来について」というテーマで委員の皆様には、高等部の生徒とも懇談をしていただく時間も取り、生徒が自分の意見を話すということもできました。「チーム小平」として児童・生徒、保護者、教職員が同じ方向を向いて進んでいけるようにアンケートの御協力をお願いいたします。

【道徳授業地区公開講座・・・9月27日】

コロナ禍では限定した方々しかお越しいただくことができませんでしたが、毎年少しずつ外部の方や保護者の皆様に参加していただきながら、今年度も、小学部と中学部で参観していただくことができました。道徳は、学習する内容項目がA～Dの4つの柱で22項目に分類されています。今年度は「B 主として人とのかかわりに関すること」の柱をテーマに、小学部は「親切、思いやり」「感謝」「礼儀」「友情、信頼」「相互理解、寛容」の5項目、中学部は「思いやり、感謝」「礼儀」「友情、信頼」「相互理解、寛容」の4項目に関連させて授業を組み立てています。

文章を読んで、主人公の気持ちや文脈を問う授業ではなく、それぞれが、学校生活で感じる事、学校から外へ出掛けて行って感じる事、本を読んだり話を聞いたりして感じる事、日々の学習や生活の中で「人とのかかわり」は常に意識して考えていかなければならない課題です。自分の周りにいる人々をどのように意識するのか、どのような思いがあるのか、我々教職員もしっかりと子供たちの思いを受け止め、「へー！」という「気付き」を大切に考えていきたいと思っております。

校長 阿部 智子